※令和４年度以降入学生用

学校番号	112

令和８年度　美術

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	美術２　（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵画、造形制作によって、日常生活で見たり感じたりした事を自分の経験値とし、様々の表現素材として作品化していくことを学びます。
自分が生きる時代とアートを学び、思考する力を学びます。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の
中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
（２）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
（３）主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活 動に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	パース基礎	・様々な遠近法を学ぶ ・一点透視法 道路のある風景 ・二点透視法 建物・家	a:造形の要素の働きを理解している。 b:主題に応じて表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 c:主体的に絵画・彫刻の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	作品	レポート 学習プリント	観察 振り返りシート
2学期	デッサン基礎	・様々な画材でデッサンする。 石膏や人物 自然物	a:主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 b:社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 c:主体的にデザインの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	作品	合評 レポート	観察 振り返りシート
	映像メディア表現	・写真コラージュ ・映像鑑賞	a:主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 b:映像表現の視覚的な要素などの効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 c:主体的に映像メディア表現・鑑賞の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	作品	合評 レポート	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	油彩画	・キュビズム美術の資料を鑑賞する ・ピカソの作品を元にデッサンする ・デッサンを基にした彫像制作・彩色	a:主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 造形の要素の働きを理解している。 b:主題に応じて表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 c:主体的に絵画・彫刻の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	作品	学習プリント レポート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度